

Ref. 1

⑯ 日本国特許庁 (JP)

⑪実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報 (U) 昭61-6235

⑥ Int. Cl. 4
H 01 H 25/04

識別記号 庁内整理番号
E-6750-5G

④③公開 昭和61年(1986)1月14日

審查請求 未請求 (全 2 頁)

④考案の名称 ジョイステイツク装置

②実願 昭59-90474

㉙出願昭59(1984)6月18日

⑫考案者舟本靖夫 東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニー株式会社内

⑦出願人 ソニ-株式会社 東京都品川区北品川6丁目7番35号

⑦代理人弁理士 杉浦 正知

⑤実用新案登録請求の範囲

ケース内に収納された配線基板と、上記配線基板に取りつけられた複数個の検出スイッチと、上記ケースから突出されたステイツク部と、このステイツク部と一体に形成された半球状の基部と、上記基部の周縁部の内方において、上記複数の検出スイッチの各々と対応して設けられた突起とを備え、上記ステイツク部を所定の角度まで傾斜させた時に、上記複数の検出スイッチの内でその操作方向に応じた検出スイッチが選択的に上記突起によりオンとされ、上記所定の角度を超える角度まで上記ステイツク部を傾斜させた時に、上記基部の周縁部が上記配線基板に当接されるようにし

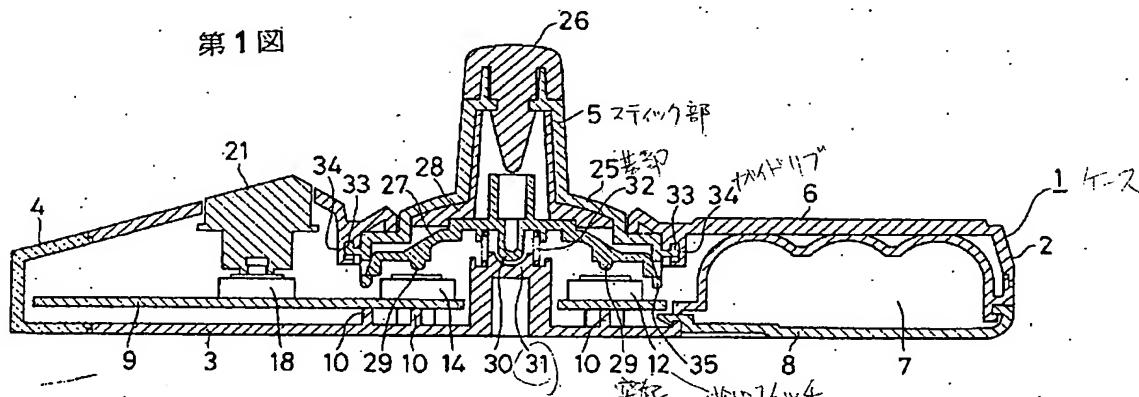
たことを特徴とするジョイステイク装置。

図面の簡単な説明

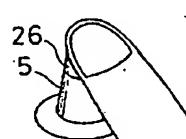
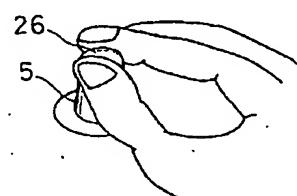
第1図はこの考案の一実施例の縦断面図、第2図はこの考案の一実施例における配線基板への部品の取付状態を示す平面図、第3図はこの考案の一実施例の斜視図、第4図はこの考案の一実施例と組合わされる受信機の斜視図、第5図及び第6図はこの考案の一実施例の使用方法の説明に用いる平面図及び一部の斜視図である。

1 ……ケース、5 ……ステイツク部、7 ……電池収納部、9 ……配線基板、11～14 ……検出スイッチ、25 ……基部、27 ……コントロールディスク、29 ……突起。

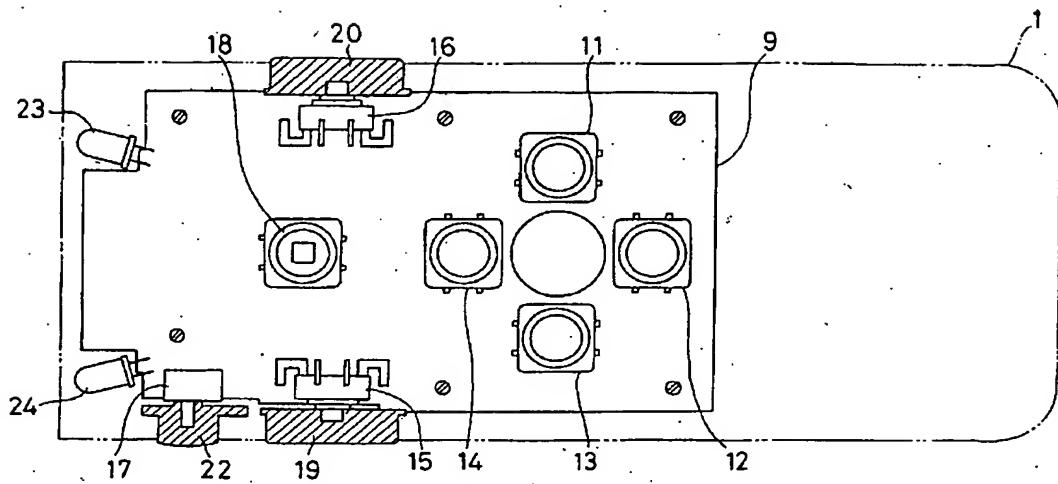
第1回



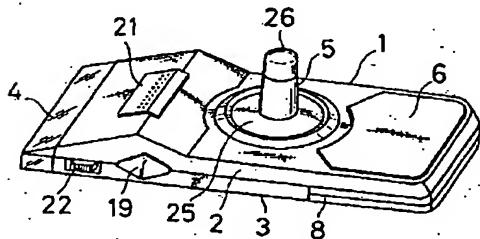
第6回



第2図



第3図



1 : ケース

7 : 電池収納部

9 : 配線基板

11~14 : 検出スイッチ

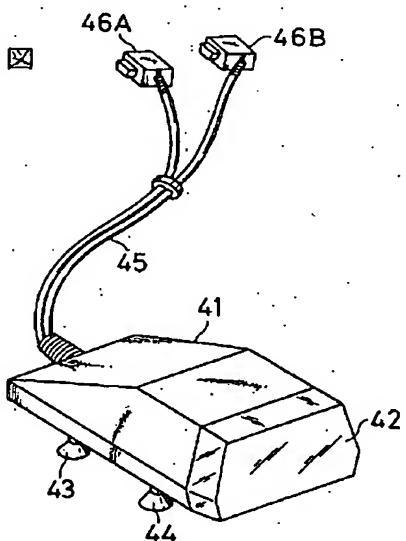
5 : スティック部

25 : 基部

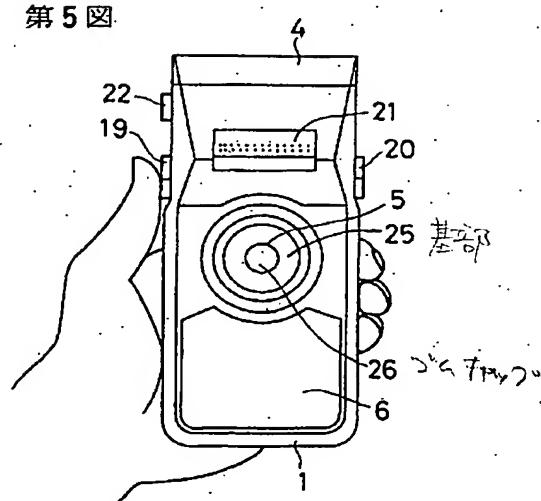
27 : コントロールディスク

29 : 突起

第4図



第5図



公開実用 昭和61- 6235

⑩ 日本国特許庁 (JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報 (U)

昭61- 6235

⑬ Int.CI. 1

H 01 H 25/04

識別記号

府内整理番号

E-6750-5G

⑭ 公開 昭和61年(1986)1月14日

審査請求 未請求 (全頁)

⑮ 考案の名称 ジョイスティック装置

⑯ 実 騙 昭59- 90474

⑰ 出 騙 昭59(1984)6月18日

⑱ 考案者 舟本 靖夫 東京都品川区北品川6丁目7番35号 ソニー株式会社内

⑲ 出願人 ソニー株式会社 東京都品川区北品川6丁目7番35号

⑳ 代理人 弁理士 杉浦 正知



明 細 書

1. 考案の名称 ジョイスティック装置

2. 実用新案登録請求の範囲

ケース内に収納された配線基板と、上記配線基板に取りつけられた複数個の検出スイッチと、上記ケースから突出されたスティック部と、このスティック部と一体に形成された半球状の基部と、上記基部の周縁部の内方において、上記複数の検出スイッチの各々と対応して設けられた突起とを備え、上記スティック部を所定の角度まで傾斜させた時に、上記複数の検出スイッチの内でその操作方向に応じた検出スイッチが選択的に上記突起によりオンとされ、上記所定の角度を超える角度まで上記スティック部を傾斜させた時に、上記基部の周縁部が上記配線基板に当接されるようにしたことを特徴とするジョイスティック装置。

3. 考案の詳細な説明

(産業上の利用分野)

この考案は、マイクロコンピュータを利用したゲーム装置に用いられるジョイスティック装置に

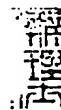


関する。

(背景技術とその問題点)

ジョイスティック装置は、スティック部の操作の方向に応じて検出スイッチを選択的にオンさせることにより、スティック部の操作と対応する信号を発生するものである。従来のジョイスティック装置は、スティック部の基部に設けられた突起を検出スイッチの押圧部に当接させることで、スティック部の操作を停止させる構成とされていた。従って、操作時の力が全て検出スイッチに加わり、検出スイッチの故障により、寿命が短くなる欠点があった。

そこで、スティック部の基部をケースの一部に当接させ、スティック部の動きを停止させる構成のものも考えられている。しかし、検出スイッチは、配線基板上に設けられているので、ケースのたわみが生じると、ケース及び配線基板の位置関係が変動し、検出スイッチに過大な操作力が加わったり、検出スイッチの作動を確実にできなくなる恐れがあった。

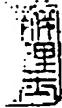


(考案の目的)

従って、この考案の目的は、検出スイッチに過大な操作力が加わることを防止し、耐久性に優れ、然も検出スイッチの作動が確実なジョイスティック装置を提供することにある。

(考案の概要)

この考案は、ケース内に収納された配線基板と、配線基板に取りつけられた複数個の検出スイッチと、ケースから突出されたスティック部と、スティック部と一体に形成された半球状の基部と、基部の周縁部の内方において、複数の検出スイッチの各々と対応して設けられた突起とを備え、スティック部を所定の角度まで傾斜させた時に、複数の検出スイッチの中でその操作方向に応じた検出スイッチが選択的に突起によりオンとされ、所定の角度を超える角度までスティック部を傾斜させた時に、基部の周縁部が配線基板に当接されるようにしたジョイスティック装置であり、配線基板を利用してスティック部の操作を停止するようにしたものである。



(実施例)

以下、この考案の一実施例について図面を参照して説明する。

第1図は、この考案の一実施例の縦断面図で、1がケースを示し、このケース1は、合成樹脂からなる上ケース2及び下ケース3を合体してなるものである。ケース1の前方の端部が開口され、この開口に第3図にも示すように、スマート板4が取りつけられている。この一実施例は、ワイヤレスジョイスティック装置であり、操作信号により変調された赤外線の遠隔操作信号がスマート板4を通じて受信機に送出される。

ケース1の上面の略々中央部に形成された円形の開口を通じて、スティック部5が植立されている。ケース1の後方の上面が操作時の手の置かれる操作受け部6となされている。この操作受け部6の下方に電池収納部7が設けられている。下ケース3が上方に折り曲げられると共に、電池蓋8がスライド自在に取りつけられ、例えば3本の単三の電池が電池収納部7内に収容可能とされてい



る。

9は、ケース1内に設けられた配線基板を示す。この配線基板9は、下ケース3と一体にその底面から植立されたリブ10上に載置された状態で下ケース3にビス止めされている。配線基板9には、第2図に示すように、正方形の頂点の夫々に位置するように、スティック部5の操作方向を検出すための4個の検出スイッチ11、12、13、14が取りつけられている。また、配線基板9の両側に操作スイッチ15、16が対称的に設けられ、一方の操作スイッチ15に近接してスライドスイッチ17が設けられている。更に、配線基板9の操作スイッチ15及び16に挟まれた位置に、操作スイッチ18が設けられている。

これらの操作スイッチ15、16、18の操作摘み19、20、21とスライドスイッチ17の操作摘み22が第3図に示すように、ケース1の外部から突出されている。操作摘み19、20、21は、トリガー釦である。スライドスイッチ17は、ワイヤレスジョイスティック装置を同時に



2台使用する時の切り替え用のものである。更に、
配線基板9の前端に一对の赤外線発光ダイオード
23、24が取りつけられている。

スティック部5は、耐衝撃性に優れた合成樹脂
例えばABSからなるるもので、スティック部
5と一体成型された半球状の基部25を有し、そ
の先端にゴムキャップ26が嵌合されている。基
部25内でこの基部25に楕円形のコントロールデ
ィスク27が部材28を介して固着されている。
コントロールディスク27は、弾性のある合成樹
脂の成型品である。コントロールディスク27か
ら下方に4個の突起29が突出され、この突起2
9の各々が検出スイッチ11~14の上方で且つ
近接して位置するようになされている。

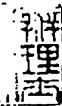
コントロールディスク27の中心から鉛直方向
に、その先端が半球状とされた支点用の軸30が
突出されている。一方、ケース1の底面から下ケ
ース3と一体に支点ボス31が突出され、この支
点ボス31の先端に凹部が形成されている。基部
25とコントロールディスク27とが固着された



状態で上ケース 2 の開口を通じてケース 1 内に挿入され、軸 3 0 の先端が支点ボス 3 1 の凹部と対向される。この場合、支点ボス 3 1 とコントロールディスク 2 7 の間にコイルバネ 3 2 が縮設され、このコイルバネ 3 2 の偏倚力によりコントロールディスク 2 7 が上ケース 2 と当接する位置までやや持ち上げられる。

基部 2 5 の周縁部から外方にガイドピン 3 3 が複数本、突出され、上ケース 2 のガイドリブ 3 4 にこのガイドピン 3 3 が係止されている。これらのガイドピン 3 3 及びガイドリブ 3 4 により、コントロールディスク 2 7 の突起 2 9 が検出スイッチ 1 1 ~ 1 4 の夫々に近接するように、位置規制される。

第 1 図に示すように、スティック部 5 が何等操作されてないニュートラル状態において、基部 2 5 及びコントロールディスク 2 7 がコイルバネ 3 2 により、上方に偏倚され、突起 2 9 と検出スイッチ 1 1 ~ 1 4 の押圧部との間に例えば 1 mm の空隙が存在している。スティック部 5 が操作されると、

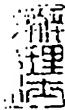


基部 25 及びコントロールディスク 27 が下方に移動すると共に、スティック部 5 の傾けられた方向に位置する検出スイッチがオンとされる。この一実施例では、4 個の検出スイッチ 11～14 の何れか 1 個或いはその隣接する 2 個のものがオンすることにより、45° の間隔の 8 個の方向を検出できる構成とされている。

この一実施例では、スティック部 5 をニュートラル状態から例えば 2°30' 傾けると、その方向に対応する検出スイッチがオンし、スティック部 5 をそれ以上傾けると、基部 25 の外周リブ 35 が配線基板 9 に当接し、スティック部 5 の動きが阻止される。

検出スイッチ 11～14 は、0.3 mm のストロークでオンするものであるが、確実にオンとさせるために、ややオーバーストロークとすることが好みしい。

第 4 図は、上述のワイヤレスジョイスティック装置から送出された遠隔操作信号を受信するための受信機の外観を示す。



4 1 が受信機のケースを示し、4 2 がケース 4 1 の前面に設けられたスモーク板を示し、4 3、4 4 がケース 4 1 の底面に設けられた固定用の吸盤を示す。ケース 4 1 内に遠隔操作信号を受光するフォトダイオード、復調回路等が収納されている。ケース 4 1 の後部から導出されたケーブル 4 5 の先端にコネクタ 4 6 A、4 6 B が取りつけられている。コネクタ 4 6 A、4 6 B は、マイクロコンピュータのコネクタに接続される。2 個のコネクタ 4 6 A、4 6 B から 2 個のワイヤレスジョイスティック装置の各々からの操作信号が取り出される。

この一実施例によるワイヤレスジョイスティック装置は、電池収納部 7 が手前に設けられているので、重心がやや後方となり、第 5 図に示すように、この重心の部分で左手の平により支えられる。ケース 1 の操作受け部 6 の上に右手がおかれ、第 6 図 A に示すように、親指と人差指でスティック部 5 の先端のゴムキャップ 2 6 を持って操作される。また、ストロークが短く、且つゴムキャップ



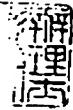
26が固着されているので、第6図Bに示すように、親指のみで操作することもできる。

(考案の効果)

この考案においては、検出スイッチがオンとされた後に更にスティック部を傾けると、基部の外周リブが配線基板に当接してスティック部の動きが阻止される。従って、この考案によれば、検出スイッチに過大な操作力が加わることを防止することができる。然も、配線基板によりスティック部の動きを停止させてるので、ケースのたわみ等の変形が生じても、基部と突起の位置関係が変わらず、耐久性に優れたジョイスティック装置を構成することができる。

4. 図面の簡単な説明

第1図はこの考案の一実施例の縦断面図、第2図はこの考案の一実施例における配線基板への部品の取付状態を示す平面図、第3図はこの考案の一実施例の斜視図、第4図はこの考案の一実施例と組合わされる受信機の斜視図、第5図及び第6図はこの考案の一実施例の使用方法の説明に用い

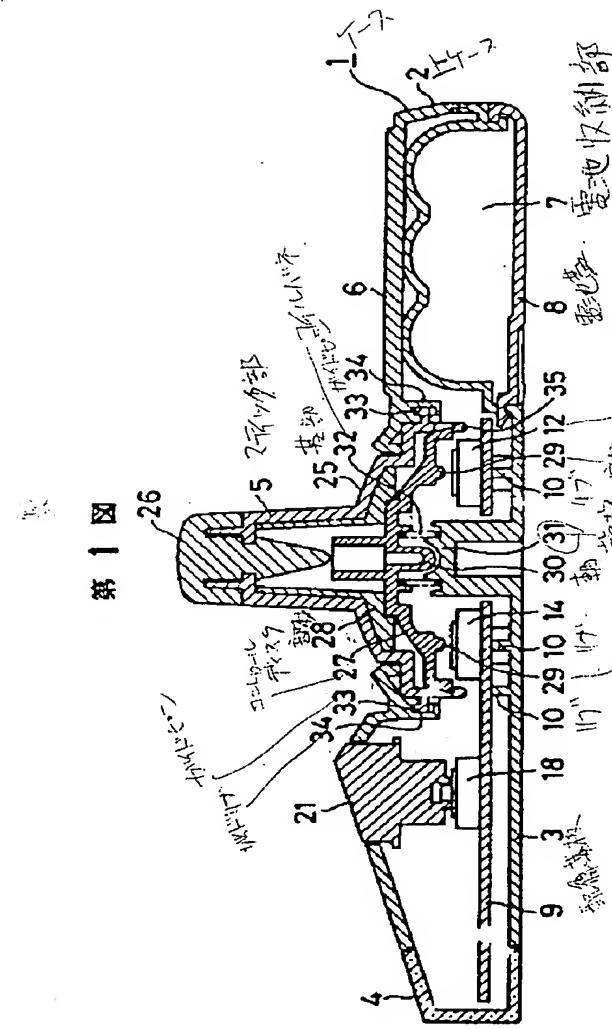


る平面図及び一部の斜視図である。

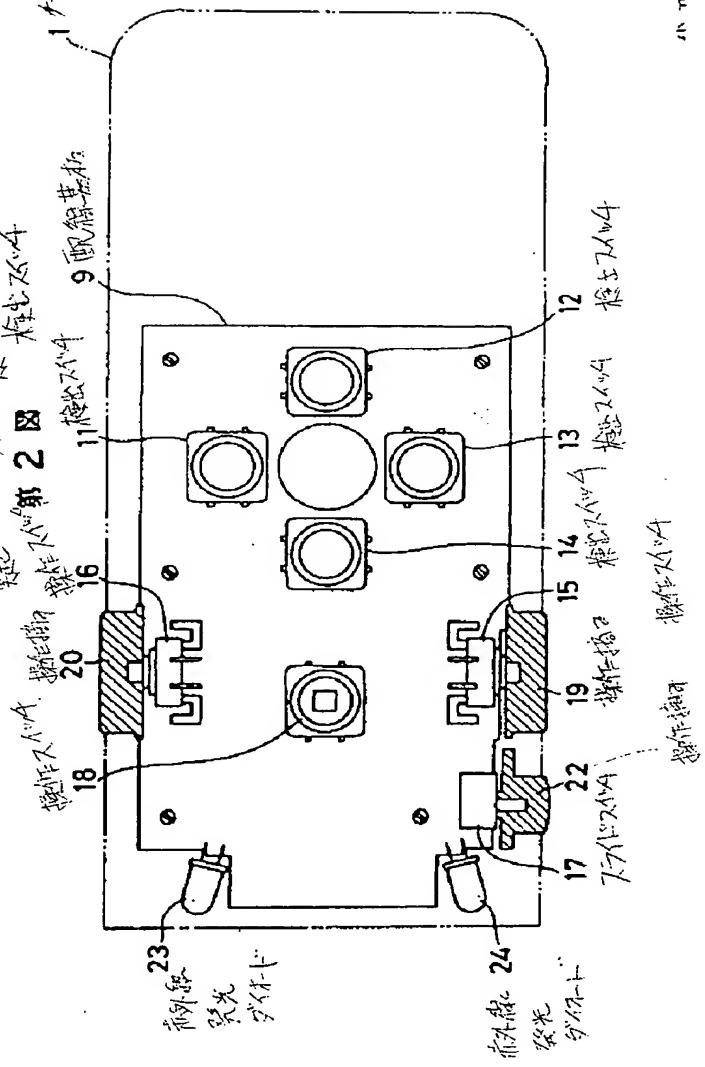
1：ケース、5：スティック部、7：電池収納部、
9：配線基板、11～14：検出スイッチ、25
：基部、27：コントロールディスク、29：突
起。

代理人 杉 浦 正 知

四
一
第

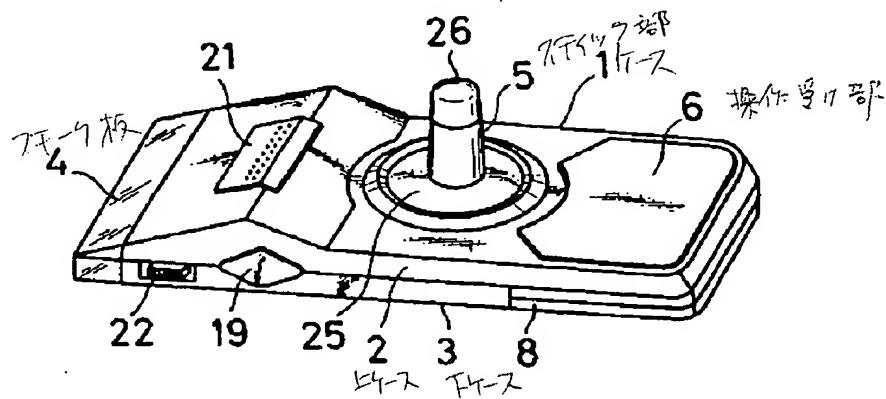


五

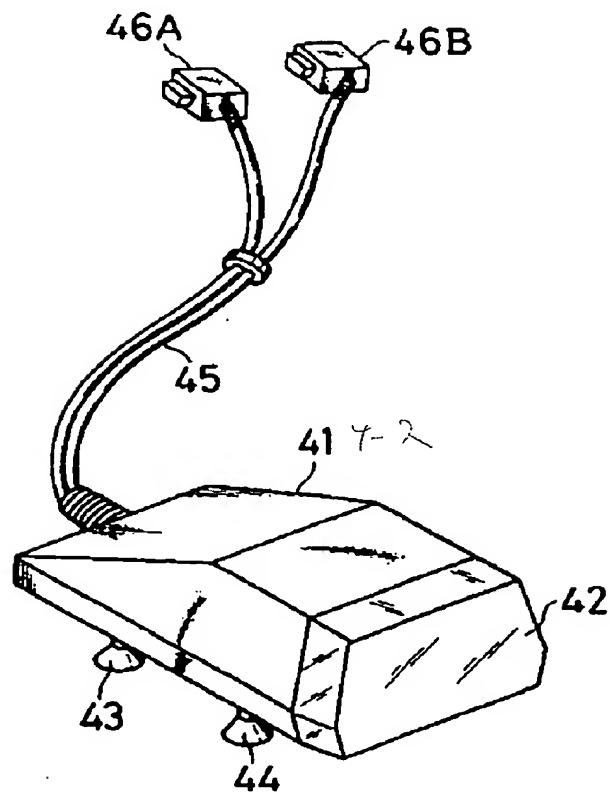


BEST AVAILABLE COPY

第3図



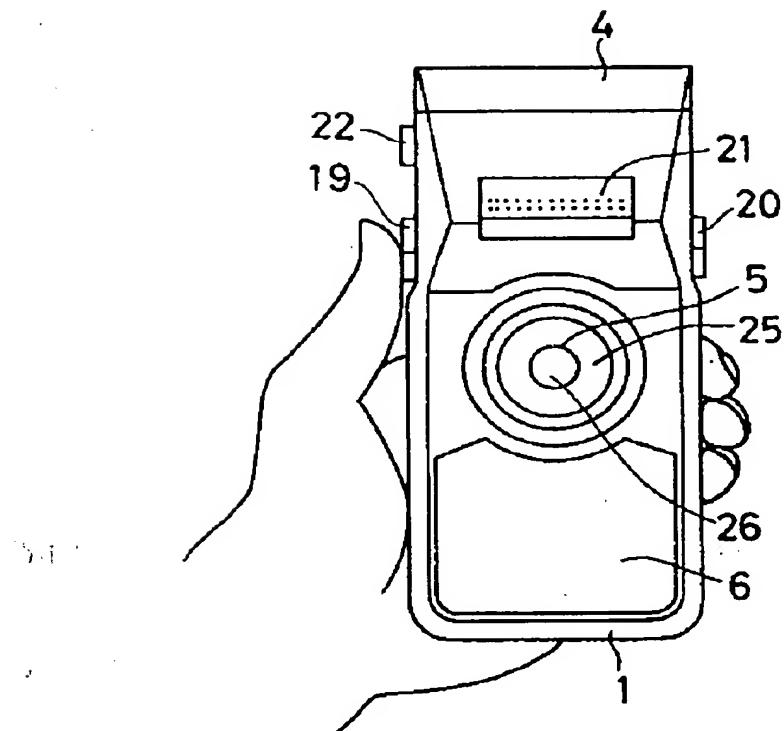
第4図



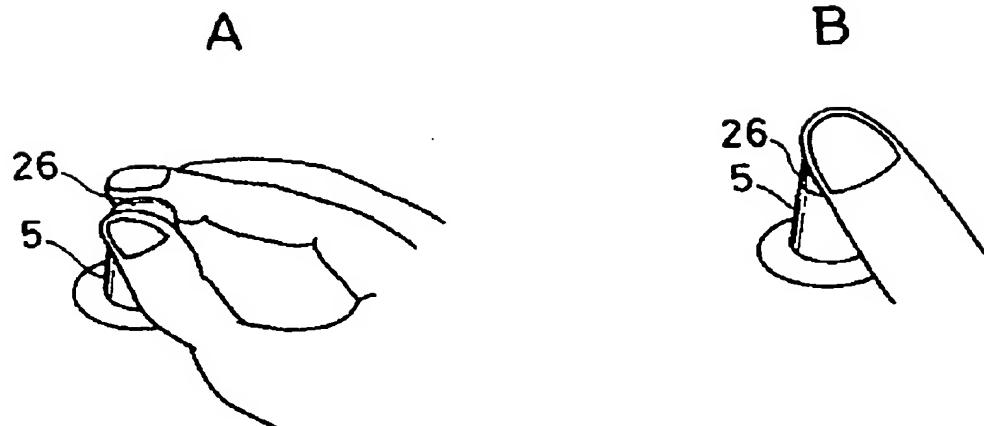
373

代理人 杉浦正知

第 5 図



第 6 図



374

大判 01 - 6236

代理人 杉浦 正知